



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



秋のマラソン大会

10月12日(木)実施

春のタイムを更新した児童は
58人中27人でした！

気持ちのよい秋晴れの下、「秋のマラソン大会&なべっこ会」を行いました。マラソンは、これまで体育の時間や「すくすくタイム」に目標をもってたくさん練習してきたので、自信をもって走ることができた児童が多かったと思います。

マラソンの後は、なべっこ会を楽しみました。縦割り班で協力してきりたんぼ鍋を作り、仲良く食べました。自分たちで作った鍋は格別においしかったようで、どの班も全部食べきりました。



マラソン上位入賞者

学年・距離	1位	2位	3位
6年男 1000㍎	小野 暁さん	神垣 天宣さん	
6年女 800㍎	白鳥 夢芽さん	西澤 玲那さん	加賀谷紅亜さん
5年男 1000㍎	小林 青羽さん	船越 波玖さん	吉村 瞭佑さん
5年女 800㍎	門脇 陽菜さん	佐藤 玲咲さん	高橋 美緒さん
4年男 800㍎	新岡 優陽さん	須藤 碧恩さん	野村 恵侍さん
4年女 800㍎	神垣 千歳さん	難波 日菜さん	原田 莓衣さん
3年男 600㍎	菊地 大惺さん	須藤 安絆さん	金田 琳人さん
3年女 600㍎	小林 心陽さん	須藤 幸音さん	
2年男 400㍎	岩城 陽太さん	石井 隼生さん	小山 楓さん
1年男 400㍎	石井 碧人さん	須藤 碧生さん	神垣五十鈴さん

きりたんぼ「なべっこ会」



1位 金メダルの10人です。おめでとうございます！





10月10日(火)、さつまいも掘りを行いました。子ども園の年長の皆さんも一緒に行いました。縦割り班で行うので、園児も入ると7つの学年が一つの班になって、上の子が下の子をお世話しながら活動しました。

時折、小雨の降るあいにくの天候でしたが、子どもたちは大きなサツマイモを掘り当てると、大きな歓声を上げていました。

J A 婦人部の方々からは、苗植えや収穫の他に、いろいろと畑のお世話をしていただきました。おかげさまで今年も大豊作でした。ありがとうございました。



時なけちしすからさを紹は、交流
をながの回はたるとれたし介、流
を過のりはがと探したしまの、交
ごのの狭が、いうてをの、流
し、英、い、う、タ、教、の、し
ま、楽、大、子、室、指、の、ま
し、し、興、ど、も、定、の、ま
ま、し、奮、も、容、内、指、の、ま
し、し、し、た、を、で、定、の、ま
ま、し、し、し、た、を、で、定、の、ま

今週の一枚
二流が4名あり、10月6日(金)のA I U 交流会がありました。5・6年生と2年生と交流しました。読書タイムには1・2年生と交流しました。読書タイムには1・2年生と交流しました。



掃除を一生懸命頑張りました!!

前期縦割り清掃班のおそうじ名人を紹介します。

1班	小林 虹華さん(2年)	6班	田森 結美さん(3年)
2班	石井 隼生さん(2年)	7班	井川 新菜さん(1年)
3班	石井 碧人さん(1年)	8班	金田 琳人さん(3年)
4班	須藤 聖さん(4年)	9班	庄内 澄海麗さん(2年)
5班	岩城 陽太さん(2年)	10班	鈴木 百華さん(4年)

前期縦割り清掃の最終日(10/13)に、班長からおそうじ名人のメダルを贈呈されました。全校児童が清掃活動に一生懸命取り組んでいます。これからも全員で八森小学校をきれいにしていきたいと思います。



様々なスキルや資質・能力を自然に養うことができるように、

定番行事「なべっこ」に迫る
実りの秋を迎え、様々な行事が行われています。本校でも先日、「なべっこ」を行いました。秋田県定番の「なべっこ」は、どうやら他県には見られない特有な行事のようです。もちろん、鍋を野外で食べる風習は他県でもありますが、大きな違いは、グループに分かれて、子どもたちだけで料理をするところだそうなんです。私の子どもの頃は、リヤカーに必要なものを載せ、全校児童が学校から数キロ離れた河川敷まで歩いて行き、川原の石で組んだ「かまど」で、思い思いの鍋を作ったものでした。食べた後は、川遊びをしました。今は丸一日をかけた一大行事でした。野菜もあらかじめ力を入れておいた、安全面や衛生面に配慮したものにしたり、子どもたちにとっては、自分たちでつくった料理を味わえる楽しみな行事です。そんな「なべっこ」は、教育的効果も見込めます。まずは、「伝える力」。計画を立てる際、「なぜこれがよいのか」をメンバーにプレゼンしなければなりません。「まとめる力」。リーダーは、メンバーの意見をうまくまとめなければなりません。将来を担う人材に必要なリーダー性が身に付きます。そして、「協調する力」。グループ内の役割を理解し、一つのことを成し遂げるために必要な能力です。最後に、「生きる力」。どれだけチェックしても、当日、何かを忘れたり、うまく物事が進まなかったりするのは、「学び」のチャンスです。試行錯誤しながら解決に向かう過程で、「悔しい」「悲しい」「相手の気持ちを切り替えたり」「次に同じ状況にならないためにもこう行動してみよう」と考えたりすることが、「生きる力」を身に付けることにつながります。

